

赤池ひろもと 後援会だより No.10



<挨拶> 皆さま、こんにちは！

春の陽気と共に、街中に活気があふれる季節となりました。日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、先の2月定例会において予算特別委員会において、令和8年度の予算審議が行われました。本市の財政の現状と、これからの歩みについてご報告いたします。



@AKAIKE_HIROMOTO



ホームページ

2026.4.5 発行

◆赤池ひろもと後援会事務所：富士宮市万野原新田 3377-7

発行責任者：佐々木 知

電話番号：0544-23-7850

財政の「ゆとり」を取り戻し、次世代が誇れる富士宮市へ



キー坊一だよ

赤池ひろもと マスコットキャラクター

富士宮市のフジ桜、カエデ、ヒバリ、がいます！

【予算特別委員会～市税について】

過去最高「621億円」予算の背景と、私たちの税金

少子高齢化が進む中、市の一般会計予算は過去最高の**621億円**となりました。懸念される人口減少の中でも、実は「市税（歳入）」は堅調です。

・**個人の市税**：定年延長や女性の社会進出により、働く世代が支えとなり、個人の市税は今後も伸びると予測されます。

・**固定資産税**：新築住宅や工場の設備投資も着実に見込まれており、街の勢いは失われていません。

また、市税の「**収納率**」の高さも特筆すべき点です。これは**市民の皆さまの高い意識と、現場職員の地道な努力**の賜物です。富士宮の大きな信頼の財産です。

<ひろもとの一口講座> 第7回

富士宮の「財政」をのぞいてみよう！

—市民の皆さまと共有するための財政解説です。—

■ 富士宮市の「稼ぐ力」は全国トップクラス！

まずお伝えしたいのが、本市の「**財政力指数**」です。数値は「**0.83**」。これは、市が行う事業に必要な財源の約8割を、国からの補助に頼らず自前の収入（市税など）で賄っていることを示します。地方都市として、自立した「安定した財政状況」と言えます。

■ 「毎月のやりくりは過去最高の緊張感

稼ぐ力は強い。しかし、家計のゆとりを示す「**経常収支比率**」は、人件費などの固定費上昇により、過去最高の93.8%に達しました。月収30万円の家庭に例えると、決まった支払いで28万円以上が消え、自由に使えるお金がわずかに2万円弱という、非常に「硬直化」した状態です。

■ 未来のために「今」すべきこと

「稼ぐ力（0.83）」がある今こそ、将来の大きな出費に備えた「賢い支出」が不可欠です。老朽化した「**天使の森**」や「**天母の湯**」の廃止は、将来の多大な負担を避けるための「**苦渋の決断**」でした。これからは、DX化などで「**固定費を削る**」努力をしつつ、歴史に学んだ「**共助**」の知恵で、行政と市民が共に街を支え合う。そんな「しなやかで持続可能な富士宮市」を、財政の番人として全力で実現してまいります！

花子から、市民の命と健康を守る「市立病院事業」について報告します（予算特別委員会）。



きらら駐車場に博物館？



市立病院をアップデート。

152億円の予算で「安心」を強化！

令和8年度の病院予算は、前年比20.9%増の152億円。この増額の正体は、約26億円の「重要資産（システム・機器）」の取得です。市民の皆さまの利便性と安心に直結する、**3つのポイント**をご報告します。（資産購入費）

1. IT化で「待ち時間短縮」へ 約22億円を投じ、電子カルテ等の**病院システムを刷新**。情報の連携を進めることで、会計の待ち時間を短縮し、より迅速で正確な投薬等を実現します。

2. 「最新機器」導入で 約4.2億円

(1)診断精度を向上

●**回診用デジタルX線装置**

●**生化学・免疫自動分析装置**

(2)患者の精神的身体的負担の軽減

●**メスを使わずに結石を治療する最新装置**

3. 「安さ」と「最新医療」の両立 出産費用が**全国平均より約9万円安い**という強みは守りつつ、中身は最新鋭へ。

現在、市立病院には約69億円の**累積赤字**（これまでの赤字の積み重ね）があります。厳しい数字ですが、現時点で「債務超過（借金が資産を上回る状態）」ではありません。今回の26億円の大型投資は、この苦しい経営状況を「攻め」の姿勢で打破するためのものです。最新機器で患者さんからの信頼を取り戻し、IT化で業務を効率化する。ただ支出を増やすのではなく、「稼ぐ力」を高めて**赤字解消へ繋げる**——。私は財政の専門家として、この再生のプロセスを厳しく監視してまいります。

<あしがき>

赤池ひろもと後援会だよりは10号を迎えました。この間、多くの方のご支援を頂き有難うございました。本4月を持ちまして後援会人事を刷新いたします。新役員は、竹田英次、栗林吉文、吉野修の3氏に引き継ぎます。今後ともよろしく申し上げます。 後援会会長 佐々木 知